



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場会社名 福留ハム株式会社
コード番号 2291 URL <http://www.fukutome.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 修治
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理支援部長 (氏名) 明石 嘉典

TEL 082-278-6161

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	22,079	0.3	416	8.9	400	△1.1	234	8.2
26年3月期第3四半期	22,020	2.0	382	3.0	404	2.7	216	21.2

(注)包括利益 27年3月期第3四半期 671百万円 (200.0%) 26年3月期第3四半期 335百万円 (52.0%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第3四半期	14.04		—	
26年3月期第3四半期	12.97		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	19,021		5,914		31.1	
26年3月期	16,820		5,081		30.2	

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 5,913百万円 26年3月期 5,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00	3.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	28,300	0.0	330	8.2	350	8.1	140	2.6	8.24	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	17,000,000 株	26年3月期	17,000,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	305,749 株	26年3月期	304,052 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	16,695,345 株	26年3月期3Q	16,700,027 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的で判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日～12月31日）におけるわが国経済は、輸出企業を中心とした企業収益の改善や雇用環境の改善がみられるなど、緩やかな回復基調が続いております。一方で、消費税増税後の個人消費に弱さが残るとともに、円安の進行に伴う物価上昇や海外経済の下振れリスクなどの懸念材料もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、円安の進行や新興国の需要増加などにより、主原料、包装資材及び燃料の高騰等から製造コストが上昇し、依然として厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一にあふれる味覚をお届けします」をモットーに「安心・安全・美味しさ」を追求し、経営理念のさらなる浸透を図るとともに、コンプライアンスを重視した社員教育を実施いたしました。また、製造コスト等の上昇が当社の経営を強く圧迫する要因となっている状況のなか、作業効率の改善や仕入の見直しを重視し、コスト削減努力を継続して行なってまいりました。

販売に関しましては、当社の登録商標である「ロマンティック街道」シリーズ、オンリーワンのロングセラー商品の「サクラ咲く花ソーセージ」、新ブランドの「広島港町手造りハム工房」シリーズや「宮島・弥山（みせん）ギフト」、「銀の食卓」シリーズ、並びに「くまモン」をパッケージに使用した商品などを中心に販売強化を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、220億79百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。利益につきましては、営業利益は4億16百万円（前年同四半期比8.9%増）、経常利益は4億円（前年同四半期比1.1%減）、四半期純利益は2億34百万円（前年同四半期比8.2%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

加工食品事業

加工食品事業につきましては、主原料、包装資材及び燃料の高騰により製造コストが上昇し、消費者の節約志向は引き続き強く推移しているなか、「ポークボロニアステーキ」や「くまモン」をパッケージに使用したウインナーが引き続き好調に推移しましたが、売上高では前年同期より微減となりました。セグメント利益におきましては、全体の落ち込みをカバーすることができました。

その結果、売上高は102億44百万円（前年同四半期比0.3%減）、セグメント利益（営業利益）は5億90百万円（前年同四半期比9.6%増）となりました。

食肉事業

食肉事業につきましては、適正価格の確保に努め、国産牛肉におきましては、出荷頭数の減少に伴う価格上昇により、販売数量が減少したため、売上高は減少いたしました。国産豚肉におきましては、出荷頭数の減少や輸入豚肉の代替需要の増加から高値が継続し、売上高は微増となりました。輸入ミートにおきましては、円安と現地価格高により販売価格が上昇するなか、海外ブランドの拡販により売上高は増加いたしました。

その結果、売上高は118億34百万円（前年同四半期比0.8%増）、セグメント利益（営業利益）は1億83百万円（前年同四半期比7.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ22億円増加の190億21百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ20億31百万円増加の90億95百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金16億60百万円、商品及び製品2億74百万円及び原材料及び貯蔵品1億93百万円の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億69百万円増加の99億25百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の評価替等5億23百万円の増加と繰延税金資産2億72百万円の減少によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ13億67百万円の増加の131億7百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ14億95百万円増加の98億96百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金12億21百万円及び未払金2億34百万円の増加と賞与引当金1億5百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億28百万円減少の32億10百万円となりました。主な要因は、退職給付に係る負債3億51百万円の減少と長期借入金1億65百万円の増加によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億33百万円増加の59億14百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加3億96百万円とその他有価証券評価差額金3億88百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年5月15日に公表いたしました業績予想の変更はしておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間における年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が328,914千円減少し、利益剰余金が212,478千円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,005,310	2,932,732
受取手形及び売掛金	2,703,188	4,363,956
商品及び製品	774,638	1,048,770
仕掛品	41,804	46,413
原材料及び貯蔵品	424,713	617,783
繰延税金資産	90,525	48,222
その他	30,724	47,294
貸倒引当金	△6,615	△9,259
流動資産合計	7,064,289	9,095,914
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,114,114	2,031,652
機械装置及び運搬具(純額)	417,826	426,984
土地	3,344,656	3,344,656
リース資産(純額)	350,290	397,905
その他	36,798	45,707
有形固定資産合計	6,263,687	6,246,906
無形固定資産		
電話加入権	21,201	21,165
ソフトウェア仮勘定	103,150	-
その他	18,544	112,565
無形固定資産合計	142,895	133,730
投資その他の資産		
投資有価証券	2,075,236	2,598,454
出資金	85,507	42,219
敷金及び保証金	125,540	117,915
保険積立金	34,081	34,081
繰延税金資産	990,540	717,790
その他	232,857	245,224
貸倒引当金	△194,107	△210,785
投資その他の資産合計	3,349,656	3,544,900
固定資産合計	9,756,238	9,925,536
資産合計	16,820,527	19,021,451

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,324,700	3,546,654
短期借入金	5,060,700	5,143,600
未払金	482,229	716,845
未払費用	87,554	92,693
未払法人税等	75,056	73,407
賞与引当金	207,781	102,149
リース債務	117,538	121,303
その他	44,940	99,770
流動負債合計	8,400,501	9,896,424
固定負債		
長期借入金	373,200	538,400
退職給付に係る負債	2,429,336	2,078,167
役員退職慰労引当金	261,815	276,290
リース債務	238,111	281,436
その他	36,538	36,669
固定負債合計	3,339,001	3,210,964
負債合計	11,739,503	13,107,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691,370	2,691,370
資本剰余金	1,503,937	1,503,937
利益剰余金	676,416	1,073,262
自己株式	△76,273	△76,902
株主資本合計	4,795,451	5,191,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	501,249	889,276
退職給付に係る調整累計額	△216,658	△166,983
その他の包括利益累計額合計	284,590	722,293
少数株主持分	982	101
純資産合計	5,081,024	5,914,063
負債純資産合計	16,820,527	19,021,451

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	22,020,312	22,079,024
売上原価	17,887,473	17,909,425
売上総利益	4,132,839	4,169,599
販売費及び一般管理費	3,750,704	3,753,281
営業利益	382,134	416,318
営業外収益		
受取利息及び配当金	27,320	29,869
不動産賃貸料	46,089	41,035
その他	23,074	18,996
営業外収益合計	96,485	89,901
営業外費用		
支払利息	72,014	67,859
貸倒引当金繰入額	-	37,900
その他	2,028	260
営業外費用合計	74,042	106,020
経常利益	404,577	400,199
特別利益		
投資有価証券売却益	0	14,119
保険差益	-	591
特別利益合計	0	14,710
特別損失		
固定資産除却損	2,637	15
固定資産売却損	-	7,432
減損損失	2,430	-
特別損失合計	5,067	7,448
税金等調整前四半期純利益	399,509	407,461
法人税、住民税及び事業税	148,307	150,241
法人税等調整額	34,581	23,645
法人税等合計	182,889	173,887
少数株主損益調整前四半期純利益	216,620	233,574
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1	△880
四半期純利益	216,618	234,454

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	216,620	233,574
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	119,032	388,027
退職給付に係る調整額	-	49,675
その他の包括利益合計	119,032	437,702
四半期包括利益	335,653	671,277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	335,651	672,157
少数株主に係る四半期包括利益	1	△880

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,274,407	11,745,905	22,020,312
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	10,274,407	11,745,905	22,020,312
セグメント利益	538,623	169,990	708,613

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	708,613
全社費用(注)	△326,479
四半期連結損益計算書の営業利益	382,134

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	加工食品事業	食肉事業	計		
減損損失	—	—	—	2,430	2,430

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,244,844	11,834,180	22,079,024
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	10,244,844	11,834,180	22,079,024
セグメント利益	590,411	183,286	773,697

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	773,697
全社費用(注)	△357,379
四半期連結損益計算書の営業利益	416,318

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

当該変更による当第3四半期連結累計期間のセグメント利益への影響は軽微であります。